

平成29年度ふるさと寄附金報告

桜井のいいもの、

さらに全国へ発信

昨年9月、「卑弥呼の里・桜井ふるさと寄附金」事業をリニューアルしたことで、寄附件数と金額が大幅に増えました。全国からの応援に感謝し、桜井市の知名度と魅力を向上させるため、市内の特産品をさらに全国へ広めていきます。

☎ 42・9111 内線576



「卑弥呼の里・桜井ふるさと寄附金」の事業を立ち上げたのは、県内で最も早い平成20年8月。一昨年までの9年間で、およそ5,600万円もの額が全国から寄せられていました。

10年目という節目の昨年9月に、寄附者への返礼品を16品目から250品目へと大幅に増やすなど、リニューアルを行いました。また、ふるさと納税のポータルサイトへ桜井市も情報を掲載したり、市ホームページや考古学フォーラム、各種イベント等でPR活動を行っています。

その結果、平成29年度の寄附件数は前年と比べて2,290件も多い2,745件。金額は6,600万円以上増加し、7,200万円を突破しました。

寄附をきっかけにして
まちの魅力を全国へ

市商工会と桜井まちづくり株式会社との協力ののもと、返礼品はさらに追加されています。これは全国へ発送されており、ふるさと納税の事業によって、これまで定番だった特産品だけでなく、桜井の新たないいものとして広がっています。

事業や返礼品によって桜井市の魅力を感じてもらえた全国の人が、「実際に訪れてみたい」、さらには「このまちに住みたい」と思ってもらえるよう、集まった善意を無駄にすることなく、これからのまちづくりには、有意義に活かしていきます。

平成29年度の実績

金額 72,093,769円

件数 2,745件

昨年比

昨年比

12.85倍

6倍

ほんの

返礼品の中から一部を紹介

3BEANS

BEANS

通常の商品のほとんどは受注生産。可能な限り個々の要望に対応しています。製作する際に一番心がけているのは、できるだけ木の素材の良さをそのまま活かすこと。「注文が多いのは、桧の丸太をほとんど切っただけのイスですね。年輪の形や色はさまざま、乾燥で割れが入ってるものもありますが、それも味。同じ商品は2つとないし、これほど素材を活かした家具はないでしょう」と話すのは、製作している中井宏次さん。



幼児用のイスやままごとキッチンも、ほとんど色を付けずに、すべすべになるまで磨き、角を丸く仕上げます。小さい頃から木に親しむことは貴重な経験。子どもたちは、手触りの良さにずっと触っているそうです。



桜井には昔から良い木がたくさん集まってきます。木の良さを活かした家具は、全国からの人気商品です。

オーベルジュ・ド・ぷれざんす 桜井

「朝採れたばかりの新鮮な野菜をたくさん仕入れることができるのは、田舎のいいところ。都会では難しい。一方、本格的なフランス料理は都会に出ないとなかなか味わえませんが、ここでは、その両方を叶えることができるんです」。オーベルジュ・ド・ぷれざんす 桜井の支配人鈴木政徳さんは誇らしげにそう話します。レストランを運営する株式会社ひらまつのグループ力や技術で、一流のフランス料理を味わうことができるレストランは、地元でも大人気です。



また、オーベルジュとは「滞在できるレストラン」のこと。遠方から訪れる人は、食事を楽しむだけでなく、宿泊して周辺の雄大な自然や歴史文化に触れたり、寺社巡りに行かれることがほとんど。



これを機に、大和まほろばの地にまた来たいと思わせてくれる施設です。



善意の寄附金を地域の課題解決のために

ふるさと寄附金は、報道される際は返礼品の内容に注目が集まりがちですが、市が行う事業や今後の取り組みへの支援を個人で選べるという点も大きなポイントと言えます。

桜井市が設定している寄附金の「使いみち」は次の8つです。

- ◆ 纏向遺跡の調査研究・保存活用等に関する事業
- ◆ まちづくりに関する事業
- ◆ 産業または観光の振興に関する事業
- ◆ 自然環境の保全に関する事業
- ◆ 医療または福祉の充実に関する事業
- ◆ 教育または文化の振興に関する事業
- ◆ 防災または消防の充実に関する事業
- ◆ 市長が特に必要と認める事業

以上の中から、平成29年度では次の3つの事業に活用しました。

平成29年度 ふるさと寄附金活用実績
(合計 15,010,000 円の内訳)

纏向学調査研究情報の発信……4,500,000 円

纏向学研究センターでの様々な研究活動とともに、情報発信事業としてホームページの運営を行いました。また「センター年報」「纏向学通信」などを刊行したほか、「卑弥呼の宮殿跡に柱を立てて復元するプロジェクト」に活用しました。



市民協働推進補助金事業……510,000 円

市民のみなさんが取り組む新たな公益活動を応援する事業補助制度として活用。平成29年度は6事業が採択されました。



防災等の拠点整備のための積立……10,000,000 円

築50年を迎え老朽化した市役所本庁舎について、災害時の拠点施設としての機能向上や市民の利便性向上を図るため、新庁舎建設事業に取り組んでいます。



ふるさと納税をするよ…

自治体に対して2,000円を超える寄附をした場合、所得によって一定の限度額まで所得税と住民税の控除が受けられます。確定申告が必要になりますので、寄附先の自治体から送られてきた領収書は、申告時まで保管しておいてください。

桜井市の場合、5,000円以上寄附していただいた人には、桜井の魅力が詰まった特産品(返礼品)を送付します。寄

附を通じて、桜井の魅力をさらに感じてもらえるよう、377品目から選ぶことができます(5月9日現在)。

ただし、桜井市への寄附は誰でも制限なくすることができませんが、総務省からの通知を受け、ふるさと寄附金の健全な取り組みのため、市内在住の人には返礼品を進呈することができませんので、ご了承ください。

リニューアルした「お礼の品カタログ」には、桜井のいいものが詰まっています。ぜひ市外の友人、知人に広めてください。



リニューアル後のパンフレットとカタログ

カザマランドセル カザマランドセル

小学校入学の1年も前から多くの子どもたちが楽しみにしているのが、自分だけのランドセル。全国で人気のブランド「カザマランドセル」は、すべて桜井市内にある自社工場で作られています。



大阪で学生かばんの職人だった会長の風間春雄さんが縁あって桜井市内に広大な工場を構え、30年前にランドセルの製作を始めました。部分ごとに海外で安く作り、組み立てだけを日本でいうメーカーも少なくありませんが、(有)カザマは学生かばんの時代から一貫して自社製作。肩ベルトの付け方1つにしても、どうやったら子どもの肩に一番フィットするか、納得するまで改良を重ねます。最後に子どもが自分で選べるパーツがあるのも魅力の1つ。ショールームでは、あちこちで真剣に選ぶ眼差しが見られました。(表紙写真) 返礼品には、特に人気の高い種類を取り扱っています。

